

くらしき作陽大学 モスクワ音楽院特別演奏コース

～ 150 年の伝統を受け継ぐ 21 世紀の音楽家たち～

Piano Joint Concert 2017

～出演者～

山口 紺碧 (4年生)

松岡 莉沙 (4年生)

野瀬 百合子

(第14期生 第3回メルジャノフ記念国際コンクール特別賞受賞)

井上 千裕

(第12期生 2017年モスクワ音楽院研究科卒)

アレクサンドル・ヴェルシーニン 他

～プログラム～

クライスラー／ラフマニノフ 愛の悲しみ、愛の喜び

メトネル 回想ソナタ 作品 38-1

回想的に 作品 38-8

ショパン ピアノソナタ 第2番 変ロ短調 作品 35

ベートーヴェン ピアノソナタ第14番「月光」

グリンカ／バラキレフ ひばり

他

2017年7月29日(土)

開場 18:15 / 開演 18:30

くらしき作陽大学 聖徳殿

(〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3 5 1 5)

入場無料

お問合せ先：くらしき作陽大学演奏芸術センター 086-523-0822

主催：くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学

後援：ユーラシア交流支援センター、モスクワ音楽院ジュニアカレッジ

くらしき作陽大学にモスクワ音楽院特別演奏コースが設立されて早17年。

これまで本当に個性豊かな音楽家たちが巣立っていきました。演奏家になる人、留学してさらに自己研鑽に励む人、皆様々です。

このコースは決して楽なコースではありません。皆数々の苦勞を乗り越え、在学の4年間で多くのものを手に入れます。華やかな舞台に立つ裏側で、たくさんの汗と涙があるのです。

ロシアと日本では弾き方が違うとよく言われます。日本には日本人特有の、ロシアにはロシア人特有の弾き方があります。では、世界中で活躍するロシアンメソッドの弾き方とはいったい何なのでしょう？

このコンサートでは、ロシア国立モスクワ音楽院教授のアレクサンドル・ヴェルシーニン先生を筆頭として、コースの卒業生、在学生たちが演奏を披露してくれます。ロシアンメソッドを軸にして音楽を学んできた彼らの演奏を聴くと、きっとその答えはおのずと見えてくるのではないのでしょうか・・・

アレクサンドル・ヴェルシーニン (Pf)

チャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院教授
くらしき作陽大学特任教授